

止めよう！戦争への道

「学術会議」は軍事のための
研究を拒否しています

菅首相は

任命拒否の撤回を！

守ろう！学問の自由
許すな！言論弾圧

就任早々、意に添わない官僚は交代させるなどと強弁する菅首相の強権的な政治姿勢は、日本学術会議の人事にまで及びました。学術会議が軍事のための研究を否定していることに対する反発でしょう。この間、安倍政権が強行した共謀罪法や秘密保護法、安保安法に異を唱えた研究者を、権力を使って排除しようとしたとしか考えられません。今回、6人の皆さんを「任命拒否」することを「見せしめ」として、学問の世界にも「忬度」を拡げようとしているのです。

首相サイドは、任命を拒否した理由をまともに語りませんが、憲法に示されている学問の自由や言論・思想信条の自由に反するだけでなく、民主主義の問題としても重大です。

「敵基地攻撃能力」って？

「やられる前にやっしまえ」？・？・？

近隣諸国との軍拡競争がすすみます。

憲法 9 条に
反します

菅政権は安全保障政策の大転換を図ろうとしています。自民党が突然「敵国の領土内を攻撃する能力」の保有をと言い始め、菅政権はその方向で軍拡を進めようとしています。いわば、「やられる前にやる」ということですから、これまでの「専守防衛」→攻められた時には防衛力を行使する」とする方針を根底から覆すものです。

憲法 9 条に反することはもちろん、これでは近隣諸国の警戒心を高めてしまいます。現在でも 5 兆 4000 億の軍事費が計上されている中、さらに、軍拡競争が過熱することも避けられません。

9 条改憲 NO !! 決めるのは私たち

菅首相もアベ前首相のめざした憲法 9 条などの改憲に踏み出すために、党内に改憲に向けて「論点整理」をするための委員会を設置しました。菅首相の強権的政治姿勢で改憲を進められては大変です。国会の動きにしっかり注目していきましょう。憲法をどうするか決めるのは、主権者の私たちです。

宮城県内九条の会連絡会 連絡先 ☎022-728-8812(みやぎ憲法九条の会)

学術会議会員任命拒否問題、
何のための介入なの？